

審 議 経 過

No. 1

1. 開会

2. 委員紹介

事務局から各委員を紹介し、それぞれ自己紹介

3. 議題

（1）令和6年度 事業報告について

（2）令和7年度運営方針及び事業計画について

（3）開館30周年図書館伊万里塾について

（4）カーボンニュートラルライブラリー基本計画について

（5）図書館の設置及び運営上の望ましい基準の見直しについて

●事務局から（1）から（4）の説明後、質疑応答

【太陽光発電設備について】

（委員）太陽光発電の状況がリアルタイムでみることができると説明を受けたが、それはどこで見ることができるのか？

（事務局）館内のくつろぎのコーナーにある、デジタルサイネージで見ることができる。

【カーボンニュートラルライブラリーについて】

（委員）学びの場を提供するということで、子どもたちがデジタルコンテンツを使用して学ぶタイミングとして、どのようなイメージなのか。

（事務局）会場の問題もあり、来館者が自由にコンテンツを使用するのは難しいのではないかと思います。時間を決める、もしくは修学旅行や環境学習で来館するというイメージになるのではないかと考える。

(委員) これだけのことをやるのであれば、しっかり学校とパイプをつないでいく必要があると思う。

(委員) 親子で参加するのが一番いいのではないか。市民に対して、こんなに楽しい場所があると知ってもらえると思う。修学旅行では難しい学年もあるため、子どもたち向けのイベントなどを計画してもらおうと、学校としても勧めやすい。

(事務局) 学校図書館連携室、環境政策課と連携をしながら、コンテンツを活用する方法を考え、喜んでもらえるように工夫をする必要があると感じている。

●望ましい基準ワーキンググループ座長より（５）の説明

(座長) 累計登録者数から、実質登録者数（１年未満に利用した登録者）へと変更している。３３％という指標にしているが、市民の３人に１人が利用する図書館を目指す数値としている。

２００４年に策定されたものについては、伊万里市と同規模の人口、８万人未満の図書館の数値を参考にしていたが、この間に伊万里市の人口が減少しており、今回は６万人未満の図書館の数値を参考としている。

また、コロナの影響がない、２０１８年の数値を参考にしている。

４．意見交換

(委員) 図書館の貸出を伸ばすための取り組みとして、今まで通りではだめだと思っている。ＰＲのしくみなどをどうするのか。

また、ＣＣの図書スペースの改善を図れば、市民の見る目が変わるのではないかと？

(事務局) ＣＣとの連携を強化し、市民が立ち寄った時に気軽に手に取ってもらえるようにできればいいと考える。図書館だけではできないので関係部署と協議し、よりよい改善につなげたい。

(委員) 実質登録者数を目標として掲げることは、大きな意味がある。この数値の意味を、市民が知る機会をもっていただくことが大事だと思う。

(事務局) 望ましい基準（案）については、引き続き意見があれば事務局までお願いしたい。

5. その他

(1) 次回の協議会

- 事務局から、第2回目の協議会の日程を説明

6. 閉会